



# 国鉄新潟

NO. 656  
発行  
09・3月20日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部



**第115回拡大地方委員会での全体の質疑・討論を特集しました。委員、支部代表者、職協代表者などなど、多くの発言がありました。**

あつせん申請、紛争処理についてどうなのか。申請中は争議行為はできないのではないのか。ストライキも同様だ。09春闘の地本の構え、方針、指示など、行動内容はどうか。  
職場の合理化反対闘争、三月のダイ改の支社提案は具体的な作業ダイヤが示されていない。労働条件は会社側が一方的にやってくるのではないのか。労働条件の明示義務を迫る団交を行うべきだ。  
羽越線・いなほ事故、宣伝行動のチラシ内容について、JRの責任追及がされていない。JR信濃川発電所取水改ざんは、87、90年の列車キ口が増えた時期からだ。  
資本主義社会が破綻し労働者がストライキで闘う情勢にある。変革していく運動を進める。解雇撤回を貫いていく。



二月十八日に関東支社で団交があった。各職場の要員が減になる

## みんなの意見

六〇歳以上の嘱託社員が向うさ  
れている。休日数は出向会社の労働条件になるので休日数が少ない。月間労働時間がオーバーしていた月があった。金よりも休日を要求したが一方的に金が振り込まれていた。主任の発令を出向会社したが主任手当が支給されていない。労基署の活用も含めて取り組んでいく。



職場では、東労組とJR労組との対立がある。  
組合費が高い。六〇歳以降、国労への再加入しない状況がある。出向会社へ行って国労に残って交渉する窓口が無い。出向会社への是正ができれば国労に残ってもらえるのではないのか。  
主任に合格した。主任者研修に三〇人養成があった。研修期間に青年から国労の組合員から仕事の面でお世話になったと話していた。エリア本部野球大会が五月十四、十五日に大井埠頭中央海浜公園

野球場で開催される。多くの参加をお願いしたい。

**NRU 第12回**  
**エリア本部野球大会**  
**5月14~15日**  
会場 大井埠頭中央海浜公園  
野球場



米坂線のワンマン化について交渉してきた。山線での単線運転は無謀だ。大雪の時は厳しい状況になる。利用者に対して会社側の対応はどうなのか。ワンマン化は避けて通れないが他線区への波及をくい止めていく。  
上越線のCTC化、夜間は貨物列車が多く走るが、要員が削減され現場での対応が厳しくなる。  
JR信濃川発電所の取水改ざん一般の社員が切ない思いをしている。JRの社会的責任を追及していく。



職場で事故が発生している。長岡駅での線間清掃で列車にぶつかりそうになった。作業の打ち合わせが明確でなく作業内容が徹底されていない。  
重運機関車から転落事故が発生した。屋根の除雪作業があり三人が作業、ひとりだけしか安全ベルトを着用しなかった。  
エルダー社員の国労加入について、全員が再加入したが賃金が減額になり、厳しい状況だ。春闘行動は三月四日に地域との仲間と春闘交流集会を開催する。

並行在来線の問題に対して、発言が少ないので感心がないのではないのか。六月六、七日、妙高市で地域住民も含めた運動が展開される。開業している線区について国労は、どう運動をやってきたのか。あつせん案について、中労委判断と説明があったが不公平で、あつせん申請した、それで良いのか。

あつせん申請、エルダー社員の不公平が発生している。現実の不公平の調査を、期限を切らずに交渉・調査を進めていく。  
新型投排雪車の本線でのトラブルが発生している。ATSの切り替えミスなど、さまざまなトラブルが発生している。会社は三年以内の社員を対象に飲み会を実施。

# みんなの意見



貨物の現状について、徹底的なコストダウン。黒字だが社員に転嫁していない。貨物労は定昇もあきらめていない。ダイヤ改では要員の削減が提案されているが業積量は同じだが作業量の見直しで削減されている。次は職場の切捨てになってくる。

出向嘱託社員の労働条件について交渉した。会社側は明確な回答ができない状況だ。新年度に入ってから本社から新人事賃金制度の提案がされる模様だ。四十八歳を上限で、その後には賃金が減少する賃金体系だ。JRカード廃止の提案がされた。社員の利用率は75%。これが多いか少ないか判断できない。



投排雪列車が九台導入された。除雪作業について評判が悪い。除雪後

只見線では列車が止まる。MRが除雪に出た。

並行在来線、知事のタウンミーティングでは無責任な答弁だった。国やJRの負担がないと維持できない。関係十一道県が足並みをそろえていく必要があると知事は、ひとことのような答弁になっている。知事の姿勢を変えて、国・JRへの負担を減らす。六月六・七日に沿線地域も含めてアピールしていく。

沿線行進を、直江津 春日山 関山 妙高など展開する。七日に地域と住民集会を開催する。専門的な分析・交流が必要だ。五十五歳で賃金ダウンする。作業量の軽減を求めているが厳しい労働状況だ。



米坂線のワンマン運転化は組織内の交渉では解決していかない。どう

う運動をつくっていくのか。

エルダー社員の希望が、かなえられない。職種・地域について一回目は希望どおりだったが二回目は、なかなか厳しい。

エルダー社員や嘱託社員の組合費が高いと感じるのは何を求めているのか、労働条件をどう改善し前進していくのか。運動を起こしていかなければならない。

上越線の業務委託化、落し物やポイントの不転について対応が困難だ。夜間のポイント不転は近くの駅から急行する。緊急発生時、ポイント不転など、運転取り扱い業務になるのか。

運協は乗務・地上・工作からなる。運動が低迷している。この一年間で地上勤務者でも運動をつくっていききたい。地上分科会を立ち上げる。五月二十三日に幹事会を開催する。幹事を各職場から選出して欲しい。

## 編集後記

やっと拡大地方委員会の情報が終りました。なるべく早く組合員の皆さんに届けよう心がけています。が、少し遅くなりました。これから春闘や中央行動やさまざまな行動が展開されます。職場の闘いが運動の一番大事なことだと考えます。職場の労働条件改善に向けてがんばりましょう。



## 関川書記長

## 書記長集約

### JR不採用問題

本部・エリアでも確認されているが年度末まで集中して取り組んでいく。2月23日から函館闘争団が新潟でオルグを展開する。酒田でもオルグや交流集会在開催される。3月に中央行動・議員会館前座り込みなど行動が展開される。4月1日にも集会在中央で計画されている。全力で取り組んでいく。

### 労働条件改善・安全問題

関連会社で死亡事故が発生するなど、輸送障害が多くなっている。具体的事象など日常的に把握していくことに弱さがある。安全総点検運動は分会の中で、どんな取り組みがされているか。機関運営を進めていく。運動の手引きを作成する。

### 並行在来線の闘い

今後とも地域の足、貨物の動脈だと発言があった。対策委員会の設置。6月6～7日の行動の取り組みを強化していく。

JRカード廃止反対の署名に全力を上げる。廃止に追い込んでいく。他労組への協力を訴えていく。

### 09春闘について

3月6日の春闘総決起集会在開催、成功させる。春闘行動が企画されている。3月14日は学習会を開催する。JR不採用事件の闘いと結合していく。

### 組織拡大について

秋田地本で国労加入がありエリアの大会以降16名の拡大になる。具体的行動について議論していく。

自民党の末期症状が漂う中で国民の暮らしを守っていく闘いを強めていこう。

